

7月 ジャーナル

アニケンが6月30日に帰ったのに、まだずっとミーティングが続くような気持ちになり、何か物足りなく、寂しくて、改めて彼女との充実した三ヶ月だったことを思い出しています。貴重な経験をさせていただいたレズリーに感謝しています。又、本当に親身にお世話して下さった、弓削さん御一家にも改めて、感謝のきもちで一杯です。人と人との出会いが大きく広がっていくことを実感しました。

さて、今月はコラボレーションについては、ほとんどなにも進展は無く、まだ考え中といったところです。

7月19日から9月15日まで群馬県立近代美術館で開催中の”いととぬの”展に出品のため、現地へ搬入に行ってきました。この展覧回は、素材に糸や布を使っているということだけでくくってあり、現代美術作品とか、テキスタイル作品という分け方をしていないので、フィールドのボーダーレス現象を示していて、おもしろいと感じました。

このプロジェクトからは新田恭子さんも出品しています。

上野 真知子